

《どうでもいい話、その 515》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

庭に珍しく蝶々が2羽飛んできました。最初は蛾かと思いましたが、羽根の色は黄色と黒と鮮やかで、やはり蝶でした。蝶は春とばかり思いこんでいましたが、調べてみると1年中いるようです。蝶は鳴かないので家に遊びに来ても分かりません。蝶のイメージは、派手好き、遊び好き、イケイケ風行動、どれをとっても歌好きに結びつき、あの容姿には歌が似合います。地味なキリギリス、コオロギ、無骨なセミさえも歌っているのに・・・。また蝶々はいつも2羽つるんでいます。したがって子供のころは1羽で蝶、異性と付き合うと2羽で蝶々になるのかなー。蝶々は、なぜ鳴かないのか。本当にプレーボーイ、プレーガールなのか。興信所を使って調べたところ、蝶は本来マジメで誤解されているのです。まず歌わないのは、DNAの派手な衣装で歌ったら目立ちすぎ天敵に襲われます。また、いつも2羽でいるのは、花から蜜を採取したりして働いているのです。つまりイチャついているのではなく共同作業を行っているのであって、内面は意外とおしとやかで品があります。それに比べ仲間のトンボの尾つながりは、セックスそのものです。ま、夫婦であればそういう行為も当然ですが、人前でやるのは品がなく、蝶と同じく鳴かないのは、ムッツリスケベなのです。

岩波より